

[高齢者の人権]

分類	題名	内容	企画	時間(分)	制作年	ビデオ/DVD
D	1 ぼけと向き合う日々 - 痴呆性高齢者の介護 -	痴呆症は、発症のメカニズムが十分に解明されておらず、周囲の理解も得づらいため、介護する家族は、疲労と混乱の日々を送っている。そのようななか、同じ立場にある者同士が語り合い、方向性を見いだそうとする動きもある。介護する家族も、される高齢者も追いつめられることなく生活していくためにはどうしたらよいかを考える。	(社) 呆け老人をかかえる家族の会	46	1998	ビデオ
D	2 よりよい介護生活を送るために	実際に介護に直面している方々の介護現場の取材から、介護を乗り切るための知識や方法を学ぶ。1. 介護サービスの利用で在宅生活を送る / 2. 福祉用具の利用で「ゆとり」をとり戻す / 3. 夫婦の協力と地域の支援で痴呆の親を介護する	東京シネ・ビデオ(株)	28	2000	ビデオ
D	3 自分らしく生きる - 成年後見制度	主人公の山田ハナさんは、亡夫一郎さんの「最後まで自宅で暮らしたい」という思いを実現させてあげられなかったことを後悔していた。ところが、今度は自らが痴呆となってしまう。まわりの方の援助で成年後見制度を利用することにより、最後まで自分らしく生きることを実現していく姿を描く。	高齢者・障害者総合支援センター「ひまわり」	23	2001	ビデオ
D	4 身体拘束ゼロ作戦 ~ やってみることから始まる	東京都第二八丈老人ホームにおける身体拘束ゼロの取り組み。抵抗に合い挫折しそうになりながら前進する様子、拘束廃止に向けた施設職員のがんばり、東京都身体拘束廃止推進員研修の講師とのやり取りなどを描く。「身体拘束廃止を進めるための18のチェック」もついており、現場でも具体的に使えるビデオ。	(株) シルバーチャンネル	35	2002	ビデオ
D	5 おじいちゃんのおトマト【アニメ】	一人の少年のまわりで起こる様々な人権問題をめぐって、少年やその家族、周囲の人たちは、悩み、苦しみながらも、体の不自由な祖父の生きる事への情熱や考え方に触れ、命の尊さや相手の気持ちを思いやる優しさに気づきはじめる。その物語を通して、高齢者問題や外見の違いから生じるいじめや差別、不登校、命の尊厳などの問題	北九州市 / 北九州市教育委員会 / 北九州市同和問題啓発推進協議会	39	1996	ビデオ
D	7 痴呆の人から学ぶ第2巻 痴呆の人の体験	クリステーン・ブライデンさんは、1995年に46歳でアルツハイマー病と診断されました。彼女は2003年11月に夫とともに日本に招かれ、岡山と松山で講演を行いました。痴呆の人自らが、このように自分の体験を言葉で伝えられるということは、大変珍しいことです。そこから私たちは痴呆の人がどのような体験をしており、どのようなことに生活の困難を感じているか、そして痴呆の人がどのようなケアを求めているかを知ることができるでしょう。	認知症介護研究・研修東京センター	16	2004	ビデオ
D	8 痴呆の人から学ぶ第3巻 痴呆の人が求めるケアとは	クリステーン・ブライデンさんは、1995年に46歳でアルツハイマー病と診断されました。彼女は2003年11月に夫とともに日本に招かれ、岡山と松山で講演を行いました。痴呆の人自らが、このように自分の体験を言葉で伝えられるということは、大変珍しいことです。そこから私たちは痴呆の人がどのような体験をしており、どのようなことに生活の困難を感じているか、そして痴呆の人がどのようなケアを求めているかを知ることができるでしょう。	認知症介護研究・研修東京センター	19	2004	ビデオ

分類	題名	内容	企画	時間(分)	制作年	ビデオ/DVD
D	9 老いを生きるー今日も何処かで高齢者のサインが！ー	認知症の富江（正司歌江）は徘徊癖があり、家族を困らせていた。ある日、巡査が富江を保護するが、その時、腕にあるアザを見つけた。事情を知った民生委員は地域包括支援センターに連絡する。	和歌山県・（財）和歌山県人権啓発センター	35	2007	DVD
D	10 ホーム・スイートホーム	元オペラ歌手の山下宏（神山繁）は認知症。部屋でも街頭でも、力の限り歌い徘徊する毎日。取り巻く家族の苦悩は限界に達しようとしていた。グループホームに入居した宏は、音楽と孫娘（酒井美紀）、息子夫婦などの心優しい人々とのふれ合いによって人間性を取り戻していく。	原作・脚本／松山善三	110	2004	DVD
D	11 老いてこそ我が道をゆく 見たらし団子	勲（71歳）は妻を亡くしてから一人で暮らしはじめて10年。ハル（72歳）と「川柳の会」で出会ってから、毎日が楽しく、結婚を決意するが、娘の反対に遭う。「川柳の会」の仲間たちからグループホームを作ろうという話がもちあがる。仲間たちや孫たちの応援で、次第に娘も理解していく。	大阪府教育委員会	54	2004	DVD
D	12 社会福祉施設等における人権 私たちの声が聴こえますか	女優の渡辺美佐子による「ひとり芝居」（施設職員編・入所者編）を中心に、施設職員の人権意識を高める必要性や手法等に関する専門家へのインタビューや施設内での人権啓発活動等の事例紹介で構成し、施設の運営に人権の観点が必要であることを強調した作品。	法務局人権擁護局／全国人権擁護委員連合会／（財）人権教育啓発推進センター	30	2008	ビデオ
D	13 虐待防止シリーズ 高齢者虐待ー尊厳を奪わないためにー	実話3話のオムニバスドラマ。それぞれの事例に沿って、介護の問題点と虐待防止の対応法を分かりやすく紹介する。	東映（株）教育映像部	26	2008	DVD
D	14 夢のつづき【アニメ】	家族の中で疎外感をいだく高齢者、認知症を患う高齢者、その介護に疲れ果てた高齢者や無気力な毎日を送る若者らが、世代の異なる者とのふれあいや、高齢者を支援するサービスの活用などで、家族のきずなを深め、生きがいを感じられる生活を送ることができるようになっていくようすを描いた作品。	東映（株）教育映像部	40	2008	DVD
D	15 自分らしい明日のために～早見優が案内する成年後見制度～	一人暮らしの妹に異変が・・・！？認知症の疑いのある妹・珠代さん（72歳）が悪質な商法に狙われていることを知った姉の芳子さん（74歳）は、珠代さんの生活を案じ、社会福祉協議会に相談に行きます。そこで紹介された「法定後見制度」を利用することで、一つの光明を見出していきます。	一般財団法人民事法務協会	30	2009	DVD
D	16 伝えたい、実現したい自分の生き方～三遊亭円楽が案内する任意後見制度～	元気シニアの鶴田さん（70歳）。夫が亡くなり、趣味の仲間が認知症になったことを聞いて、自分の老後の暮らしが心配になりました。その心配を公証人に相談したことが、現在のはつらつとした生活につながったのです。	一般財団法人民事法務協会	33	2010	DVD

分類		題名	内容	企画	時間 (分)	制作 年	ビデオ/ DVD
D	17	なぜ、介護者が虐待を・・・ -介護者支援から高齢者虐待の無い社会へ-	この作品は、高齢者虐待の現実を再現ドラマで示し、虐待防止のあり方、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを提案する教育ビデオです。	(株)映学社	24	2012	DVD
D	18	防ごう高齢者虐待（日常の介護から考える）	高齢化が進む現代社会においては、高齢者の介護は避けて通れない問題であり、弱い立場の高齢者を虐待することは誰にでも起こりうるかもしれない。本作品は働きながら認知症の親の介護をしている2つの事例を、老老介護の話も含め、どのような場面で虐待をしそうになるか示すことで、虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいかを考えて、理解できることを目的にしたドラマ作品である。	(株)東映教育映像部	28	2015	DVD
D	19	ここから歩き始める	東映作品「認知症を共に生きる」をテーマに高齢者問題を人権の視点から捉えた作品	(株)東映教育映像部	30	2016	DVD